

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	国家試験演習Ⅴ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年	学期	前期	教室名	801
担 当 教 員	樋口 舞				
実務経験とその関連資格	作業療法士として回復期の身体障害領域に従事。 心身機能・活動・参加・環境に対する各種評価・作業療法を実施。 その後、放課後等デイサービス、小児・成人の訪問リハビリを通し、生活期のリハビリに関わる。 生活行為向上マネジメント(MTDLP)基礎研修修了。				
《授業科目における学習内容》 この授業では国家試験に向けての学習方法と習慣を身に付けていきます。授業は精神医学の内容に基づき進行します。授業理解を深めるための教員からのショートレクチャー、学生間での教えあい、口頭試問も行います。一つずつ丁寧に理解し、基礎知識を深めていきましょう。国家試験進行表、目標シートを使用し勉強習慣を身に付けていくので、シートの記載を忘れず行いましょう。					
《授業科目における学習内容》 定期試験：40%(上記学習内容に加え、これまでの国家試験演習で実施した内容をすべて含みます。) 確認テスト40%:小テスト：30% * 1回15%(計2回) 口頭試問10%(口頭試問は4～5回実施します) 提出物：20% * 国家試験進行表、記載したノート、目標シート、教科書など					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 理学療法士・作業療法士 国家試験必修ポイント 臨床医学 精神医学、臨床心理のテキスト 国家試験過去問 2020～2024年度(過去5年分) * 2024年度分に関しては、厚生労働省HPにてUPされてから配布になります。					
《授業外における学習方法》 国家試験進行表を基に、計画を立て積極的な予習・復習を行いましょう。 目標シートを使用し、一週間ごとの目標を達成し、学習習慣や生活リズムを整えましょう。 理解度確認の為に、口頭試問も行います。授業でわからないところがあれば調べる、質問するなどを習慣づけていきましょう。					
《履修に当たっての留意点》 ①達成できる目標を立て、それを継続して取り組みましょう。②わからないことは解決し、知識が増えていくことに自信を持ち、楽しみながら学びましょう！③クラスメイト全員で国家試験合格を目指します。授業の中では自分だけで進めるのではなく、クラスメイトと勉強し学びあいましょう！					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	国家試験進行表に基づき、授業内容をイメージできる。 国家試験対策の資料作成の方法を理解できる。	必修ポイント 臨床医学 精神医学		
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 国家試験進行表の使い方を理解し、今までの範囲の記載が行える。 理解度確認テストの実施、今年の国家試験問題を考えてみよう。			
第2回	授業を通じての到達目標	授業内容をノートに記載し、該当する問題に関する必要な知識についてまとめることができる。	必修ポイント 臨床医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入	
	各コマにおける授業予定	統合失調症(特徴、症状)			
第3回	授業を通じての到達目標	類似問題を解き、該当する問題に関する必要な知識について説明することができる。	必修ポイント 臨床医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入	
	各コマにおける授業予定	統合失調症(特徴、症状) 口頭試問①			
第4回	授業を通じての到達目標	授業内容をノートに記載し、過去問の回答の正誤を解答することができる。 該当する問題に関する必要な知識についてまとめることができる。	必修ポイント 臨床医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入	
	各コマにおける授業予定	気分障害(うつ病)			
第5回	授業を通じての到達目標	類似問題を解き、該当する問題に関する必要な知識について説明することができる。	必修ポイント 臨床医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入	
	各コマにおける授業予定	気分障害(うつ病) 口頭試問② 提出物①			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	統合失調症、気分障害の臨床問題にチャレンジし、基礎知識を臨床と繋げる経験を積む。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	統合失調症、うつ病		
第 7 回	授業を通じての到達目標	国家試験進行表、目標シートの記載が行える。 授業内容をノートに記載し、解説ができる。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	神経症性障害(PTSD、強迫、解離)		
第 8 回	授業を通じての到達目標	類似問題を解き、該当する問題に関する必要な知識について説明することができる。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	小テスト① 神経症性障害(PTSD、強迫、解離)		
第 9 回	授業を通じての到達目標	国家試験進行表、目標シートの記載が行える。 授業内容をノートに記載し、解説ができる。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	摂食障害		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	類似問題を解き、該当する問題に関する必要な知識について説明することができる。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	摂食障害 提出物②		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	国家試験進行表、目標シートの記載が行える。 骨格筋の範囲を人と共有し、理解を深めることができる。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	依存症(アルコール)		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	類似問題を解き、該当する問題に関する必要な知識について説明することができる。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	依存症(アルコール) 口頭試問③		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	国家試験進行表、目標シートの記載が行える。 授業内容をノートに記載し、解説ができる。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	てんかん		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	類似問題を解き、該当する問題に関する必要な知識について説明することができる。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	てんかん 口頭試問④		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験の過去問について正誤を解答することができる。	必修ポイント 臨床 医学 精神医学	国家試験進行表 目標シートの記入
	各コマにおける授業予定	小テスト② 提出物③		